

オイル流出事故対応訓練

平成 29年10月11日(水)に東北町保健福祉センターにおいて高瀬川水系水質汚濁対策連絡協議会による水質事故対応訓練が行われました。

これから灯油の取り扱いが増え、油流出事故の発生が増加しやすくなる季節を迎えることから、河川管理に携わる国、県、市町村職員、消防署、建設業者など約100名の方々に参加していただき、水質事故対策に関する被害拡大防止などの事故対策技術の向上を図りました。



油処理剤の特徴を説明しています。



小さな水路での対策を説明しています。

油処理費用は原因者負担

オイルフェンスや吸着マット、人件費等の事故処理に要した費用が請求されます。その規模によっては莫大な費用が請求されます。

家庭のホームタンクや事業所のタンクから灯油などの油類が漏れ出し、水路や河川に流出する事故が増えています。その多くは管理不備やうっかりミスが原因です。

1) 定期点検を怠らない(油類を使用しない季節も気を緩めずに)

- ・配管やホームタンクの定期点検を実施しましょう
- ・ホームタンクの残量を常に確認しましょう
- ・給油コックや水抜きバルブの締め付けは確実にいきましょう

2) その場を離れない、目を離さない

- ・給油中やホームタンクからの小分け中は、絶対にその場を離れないようにしましょう

3) 落雪対策をきちんと行う

- ・配管の位置を把握し、屋根からの落雪の危険がある箇所には雪囲いをしましょう。

油の流出を起こしたり発見したときは、**市町村・最寄りの消防署・警察署・県の機関**又は**高瀬川河川事務所**まで連絡をお願いします。



中学生の体験学習



平成 29年10月13日(金)に十和田市の四和中学校の1・2年生を対象に「体験型現場学習会」を実施しました。

少子高齢化と建設業離れが進んでいることから、国土交通省 東北地方整備局 高瀬川河川事務所と一般社団法人 青森県建設業協会の主催で、社会資本の整備と維持に必要な建設業の重要性を理解し、興味をもっていただくことを目的としています。

全体講習「建設現場へGO!」



測量体験



バックホウの操作体験



高所作業車体験



※「おがわらこニュース」は、事務所HPでもご覧いただけます。

編集後記

今年は岩木山と八甲田山で例年より2週間前後も早く初冠雪を観測したそうです。朝晩の冷え込みが急に厳しくなったら、もう11月。冬も目前となりました。初冬期は事故も多くなりますので、冬タイヤの早期装着にご協力をお願いします。(木村)



発行

高瀬川河川事務所 小川原湖出張所

〒033-0021 三沢市岡三沢三丁目9-19

TEL:0176-53-3081 FAX:0176-52-9266

E-mail: thr-takasegawa01@mlit.go.jp

<http://www.thr.mlit.go.jp/takase/>